

中国「人民日報」紙版と「@人民日報」微博 公式アカウントにおける新聞記事の 比較に関する研究

CAI Jialun

本研究では、中国「人民日報」紙版と「@人民日報」微博公式アカウントがそれぞれ発信した新聞記事を比較することで、お互いの関係性を解明すると同時に、中国メディア業界における民主化の進んでいる程度、政治的な開放性の程度を合わせて検討する研究である。

2000 年に入ってから、インターネットの急速な進化をするとともに、情報の伝達は送り手から受け手まで一方的に流れるという単方向的なものから、送り手と受け手の間に流動するという双方向的なものに変化してきた。そこで、Twitter や Facebook など情報の伝達を支えるソーシャルメディアが急速的に世界に広がっていった。しかし中国国内では、特殊なメディア政策が存在し、政府がメディア業界に対しての制限を設置しているため、2017 年の現在でも世界で人気の Twitter や Facebook などのソーシャルメディアが中国国内でのサービスを展開することができていない状態になっている。

一方、2011 年中国国内ローカル企業の Sina 社をはじめ、Tencent 社、Sohu 社および Netease 社を含める四大インターネット企業がそれぞれのミニブログサービス、Sina 微博、Tencent 微博、Sohu 微博および Netease 微博を発表した。各社それぞれのミニブログサービスがすべて微博(ウェイボ)という二文字を付いているため、中国国内でミニブログサービスは「微博」(中国版 Twitter)と呼ばれている。そこから、ラジオ、新聞やテレビという伝統的なメディアをはじめ、様々なメディアが微博で独自の公式アカウントを作り始めた。その勢いの中で、人民日報社は 2012 年 7 月 22 日に独自の微博公式アカウント「@人民日報」を発表した。「@人民日報」微博公式アカウントを開設したことで、中国共産党中央委員会の機関紙であり、中国共産党と中国政府を代表するトップ官営メディアである人民日報社は、インターネットメディア時代で

の新しい道を切り開いた。

本研究では、中国国内のトップ新聞である中国「人民日報」紙版と、5千万のフォロワーを持ち影響力に関するランキングでナンバーワンを獲得した「@人民日報」微博公式アカウントを対象として、それぞれ発信した新聞記事にどんな違いがあるのかを明らかにする。そして、その研究結果に基づいて、「人民日報」紙版と「@人民日報」微博公式アカウントはどのような関係なのか、中国メディア業界ではどのような位置づけをされているのかを解明すると同時に、中国メディア業界の民主化はどの程度まで進んでいるのか、政治的な開放はしているかどうかを合わせて検討する。

第1章では、インターネット時代における情報伝達の変革、世界的なソーシャルメディアの誕生、中国国内のミニブログである「微博」の状況、および「@人民日報」微博公式アカウントの誕生の経緯を明らかにした。そして、「@人民日報」微博公式アカウントに関する先行研究を考察した上で、「人民日報」紙版と「@人民日報」微博公式アカウントの相違点と関係性に関する研究が不足していることを提示した。

第2章では、世界で人気があるミニブログである Twitter の発祥の考察結果に基づいて、中国ローカルミニブログである「微博」の歴史、現在中国微博業界の現状、そしてその中に代表的な「Sina 微博」の歴史や現状を解明した。

第3章では、中国のトップ官営メディアである「人民日報」の誕生と変化を明示した上で、人民日報に対して新しい変革といえる「@人民日報」微博公式アカウントの設立および現状を論じた。

第4章では、統計調査の中にあるサンプリング調査方法を選ぶ理由、そしてなぜ「@人民日報」微博公式アカウントの新聞記事をサンプルとしたのか、なぜ2016年4月1日(金曜日)から2016年9月30日(金曜日)まで半年の間新聞記事を選定したのかという選定基準、また新聞記事に対しての注目度と影響力、フォロワーの関心度を測定できる基準である「転載」(微博に使う言葉であり、日本のリツイートという)で抽出したサンプルの概況を明示した。さらに、文体、言語、流行語などの項目を含める新聞記事の内容、および記事を表現するために使った新聞記事の表現方法、この2つの方法で新聞記事を比較していくことを提示した。

第5章では、3つの新聞記事に基づいて「人民日報」紙版と「@人民日報」微博公式アカウントの相違点と関係性についての分析を行った。具体的には、南シナ海の領土問題に関する新聞記事については文体、言語および写真の種類という3つの項目で分析をした。オリンピックで中国女性バレーボールチームが優勝した新聞記事については文体、写真の種類という2つの項目で分析を行った。2016年の洪水災害に関する新聞記事については文体、表現方法という2つの項目で分析を行った。

第 6 章では、各新聞記事における相違点をまとめた上で、「国家という立場で国家的なスタンスを言明する役割を達成できる「人民日報」紙版だけではなく、さらに国家と個人の 2 つの立場で国家的なスタンスの表明と個人個人の考えのリード、この 2 つの役割を果たすことができる「@人民日報」微博公式アカウントを加えたことで、ダブルの戦略としてメディア業界をリードしながら、国家的な考えをより浸透させることができるといえるのではないか」という結論を提示した。そして、中国メディア業界の民主化が進んでいる程度、政治的な開放性についてもっと検証する必要があること、および文体、言語、表現方法の 3 つ以外の項目で「人民日報」紙版と「@人民日報」微博公式アカウントの比較にも注目すべきだということを今後の展望として述べた。